



▲除雪作業をする地域協力員の児玉さん

福祉除雪事業は 身近な地域の支え合い

雪は大切な水資源である反面、転倒事故や交通障害を招くなど、私たちの冬の生活に大きな影響を及ぼします。特に、除雪が困難なお年寄りや障がいのある方にとっては、外出をも阻む深刻な問題です。

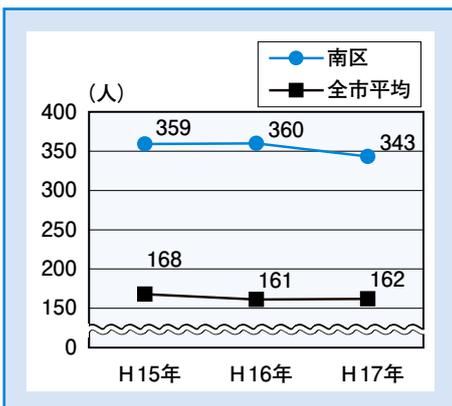
福祉除雪事業は、一軒家に居住する高齢者や障がいのある方々を対象に、住宅の玄関先から道路までの敷地内と間口に積もった雪を、近隣の個人や企業などが協力して除雪する「地域の支え合い事業」です。

福祉除雪サービスは、自力で除雪することが困難な70歳以上の方や重度の身体障がいのある方のみが住む世帯が利用できます。南区の平成17年度の利用世帯数は514世帯。市内では北区、西区に次いで三番目です。

除雪を行う地域協力員は、地域住民をはじめ、企業や団体などが登録しています。南区の平成17年度の協力員数は343人。市内で一番の多さです。また、南区では利用世帯の約8割の除雪を地域住民が行っており、この割合も市内で一番です。

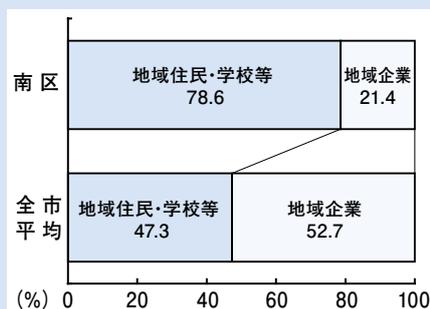
福祉除雪サービスの利用世帯数は増加傾向であるのに対し、協力員数はやや減少傾向で、協力員の確保が課題となっています。

地域協力員数の推移
(登録企業数を除く)



南区は地域住民が福祉除雪を行う割合が高く、住民同士の協力が盛んです。

平成17年度地域協力員の世帯担当割合



福祉除雪サービス利用世帯数の推移

